

地域福祉推進計画
実施計画ロードマップ

【重点取組2】福祉学習の推進と担い手づくり
基本目標1：住民参加の促進と福祉活動の活性化／基本計画3：福祉学習の推進と担い手づくり／
（1）福祉学習のプラットフォームづくり （2）子どもを対象とする福祉学習の推進 （3）地域における福祉学習の推進

【めざす姿】 （1）福祉事業者、学校関係者、当事者団体、ボランティア等様々な機関や団体が参加したネットワークが形成され、従来の体験型学習から実践型学習へ転換した福祉教育プログラムづくりが進んでいます。
（2）子ども向けの福祉学習プログラムが充実しています。
（3）住民・ボランティア向けの福祉学習プログラムが充実し、地域福祉の担い手の育成が進んでいます。

年次		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	【評価基準】 A:目標をすべて達成 B+:目標を概ね達成 B:目標の半分以上を達成 B-:目標の半分以下を達成 C:着手済み D:未着手
総合 評価	(1)	D	D	D	C		
	(2)	D	C	C	C		
	(3)	D	D	C	C		

重要業績評価指標(KPI)	地域振興協議会・民間団体の役割	社会福祉協議会の役割	行政の役割
(1)福祉学習のプラットフォームづくり 1. すべての地区において、地域振興協議会、学校、幼稚園・保育園、福祉団体・事業所、企業等の参加によって協議と協働の場（地域プラットフォーム）が立ち上がり福祉学習プログラムの開発が進む 2. 全町版プラットフォームが立ち上がり、各地区の活動状況やノウハウが広く共有される (2)子どもを対象とする福祉学習の推進 1. すべての小・中学校において、障がい者等の当事者団体や地域振興協議会、福祉専門機関との協働で新たな人権・福祉学習プログラム（実践学習を含む）を実施 2. 地区の福祉活動や福祉施設等でのボランティア活動に参加したことのある子どもの割合が5割以上 (3)地域における福祉学習の推進 1. すべての地区において、障がい者等の当事者団体や福祉専門機関等との協働で新たな人権・福祉学習プログラムを実施 2. 主要な企業・事業所において、障がい者等の当事者団体や福祉専門機関等との協働で新たな人権・福祉学習プログラムを実施 3. すべての地区において、多様な世代の住民が参加したボランティア組織が形成され、今後の福祉活動に必要な担い手を確保	(1)福祉学習のプラットフォームづくり 【期待される主体】地域のあらゆる主体 ●学校、福祉団体・事業所、企業等の多様な主体による協働の場（地域プラットフォーム）に参加し、福祉学習プログラムを共に作り、学び、実践に努めます。 (2)子どもを対象とする福祉学習の推進 【期待される主体】地域のあらゆる主体 ●健康や福祉・人権問題に対する理解の促進を図ります。 ●地域プラットフォームにおいて実践型福祉学習プログラムを検討・実施します。 ●当事者参加型の福祉学習プログラムを検討・実施します。 (3)地域における福祉学習の推進 【期待される主体】地域のあらゆる主体 ●講演会・研修会等福祉を学ぶ多様な福祉学習プログラムを企画・実施します。 ●各種研修会へ積極的に参加します。 ●当事者参加型の福祉学習プログラムを検討・実施します。 ●健康や福祉・人権問題に対する理解の促進を図ります。	(1)福祉学習のプラットフォームづくり ●地域プラットフォームの形成と活動支援を行います。 ○様々な地域の関係者との連携や調整 (2)子どもを対象とする福祉学習の推進 ●地域プラットフォームを通じた実践型福祉学習プログラムの開発と活動支援を行います。 ○福祉学習出前講座の実施 ○夏休みボランティア体験事業の実施 (3)地域における福祉学習の推進 ●地域プラットフォームを通じた実践型福祉学習プログラムの開発と活動支援を行います。 ●地域振興協議会との連携による多様な講演会、研修会を企画・実施します。	(1)福祉学習のプラットフォームづくり ●地域プラットフォームの形成の支援及び参加に努めます。 ●教育委員会等（行政部門）との連携を強化します。 (2)子どもを対象とする福祉学習の推進 ●地域プラットフォームを通じた福祉学習プログラムづくりを支援します。 (3)地域における福祉学習の推進 地域プラットフォームを通じた福祉学習プログラムづくりを支援します。

年次	進捗の目安	地域振興協議会・民間団体の取り組み実績	社会福祉協議会の取り組み実績	行政の取り組み実績	その他特記事項
2021 (R3) 年度	◎【重点取組1】で実施されるモデル地区事業を通じて形成されるネットワーク組織を基盤に地域プラットフォームを立ち上げ、プラットフォームに参加する多様な主体を対象に、地区の現状把握・課題整理や地域福祉推進計画への理解を促進するための研修会を実施 ◎モデル地区では、次年度以降実施する介護予防活動や地域福祉活動の企画とあわせて、地域や学校で実施すべき福祉学習プログラムを企画・開発し、実施に向けて準備 ◎モデル以外の5地区においても地域振興協議会を核とするネットワーク組織を立ち上げ、地域プラットフォームの原型を形成して地域福祉推進計画に対する周知と理解促進を図る。さらに、次年度からのモデル地区事業の開始に向けて、必要な研修や人材発掘などの取り組みを順次開始	▼東西町地域振興協議会 ▼天津地域振興協議会 ▼大国地域振興協議会 ▼法勝寺地区地域振興協議会 ▼南さいはく地域振興協議会 ▼あいみ手間山地域振興協議会 ▼あいみ富有の里地域振興協議会	【予定される取り組み】 ◎役職員の地域福祉推進計画に対する理解促進に向けて研修会を開催（次年度以降も必要に応じて開催） ◎モデル地区事業で形成されるネットワーク組織を基盤とする地域プラットフォームの形成支援 【取組実績】 ◎R3年4月地域福祉推進計画社協役職員研修会を実施	【予定される取り組み】 ◎職員の地域福祉推進計画に対する理解促進に向けた研修会の開催（次年度以降も必要に応じて開催） ◎モデル地区事業で形成されるネットワーク組織を基盤とする地域プラットフォームの形成支援 【取組実績】 未実施	
2022 (R4) 年度	◎モデル地区を全地区に拡大し、すべての地区で地域プラットフォームの立ち上げを完了するとともに福祉学習プログラムの企画・開発を行う	▼東西町地域振興協議会 ◎医師を講師とする健康講演会の実施、東西町スポーツ広場の草取り（近隣使用者全員による作業） ◎夏休みみんなでラジオ体操、夏休み子ども塾、リサイクル活動（年3回） ◎地域福祉コーディネーターを中心としての福祉関連研修会参加、各区単位による人権学習会の継続実施 ▼天津地域振興協議会 ◎地域福祉懇談会を立ち上げ 地域福祉推進計画達成のための事務局・チーム編成決め ▼大国地域振興協議会 ▼法勝寺地区地域振興協議会 ▼南さいはく地域振興協議会	【予定される取り組み】 ◎モデル地区事業で形成されるネットワーク組織を基盤とする地域プラットフォームの形成・活動支援（次年度以降も継続） ◎新たな福祉学習プログラムの企画・開発及び実施支援 【取組実績】 ◎各地区ともまだ地域プラットフォームの形成にまでは至っていない。 ◎新たな福祉学習プログラムの企画・開発及び実施支援は未実施 ◎子どもを対象とする福祉学習の推進として会見小学校、西伯小学校、会見第二小学校人権教育出前授業実施 ◎会見小学校 クラブ活動支援（ユニバーサルク	【予定される取り組み】 ◎モデル地区事業で形成されるネットワーク組織を基盤とする地域プラットフォームの形成・活動支援（次年度以降も継続） ◎新たな福祉学習プログラムの企画・開発及び実施支援（特に教育委員会や行政部門間の調整） 【取組実績】 ◎福祉推進事務局（南さいはく）、福祉推進委員会（東西町）へ参加し、ネットワーク組織を支援	

		◎関係機関に依頼し地域住民・関係職員の福祉学習プログラム実施を検討 ▼あいみ手間山地域振興協議会 ▼あいみ富有の里地域振興協議会	ラブ）年間8回実施。 ◎夏休みボランティア体験事業 小学校6年生 2日間 1日程 1名参加 中学校3年生 3日間 2日程 13名参加		
2023 (R5) 年度	◎すべての地区と小・中学校、ならびに主要な企業・事業所で地域プラットフォームによって企画・開発された新たな福祉学習プログラムを実施 ◎各地区の第4期地域づくり計画の見直しにあわせて、改めて地区に必要な福祉学習プログラムを検討し、地域づくり計画に位置付ける ◎全町版プラットフォーム（連絡会）を立ち上げ、各地区の活動状況やノウハウ、今後の課題等を抽出・共有する	▼東西町地域振興協議会 ◎小・中学生が「駄菓子屋さん」での経験を通して、地域住民との触れ合いでボランティア活動の楽しさ・有用感を体感（3回実施） ◎高校生サークルや子どもからおとなの方が共に協力し「つどい活用イベント」を開催。（4回実施） ◎広報誌「まち」にボランティア活動の掲載と紹介＜検討取組＞ ・地域住民のための福祉学習プログラムの検討と実施 ・地区内小・中学生のための福祉学習プログラムの検討と実施 ▼天津地域振興協議会 ◎人権学習の会実施 ◎天津合同いきいきサロンふれあい会で西伯病院長による健康講座実施 ▼大国地域振興協議会 ◎三世代交流事業としてまめなかや畑を耕作 さつま芋を栽培し、苗の植え付けから収穫までを三世代に参加して頂き、開催している。 ▼法勝寺地区地域振興協議会 ◎役員会に於いて地域福祉推進計画の説明と意見交換 ◎民生委員との意見交換会 ◎役員会に於いて福祉推進事務局の立ち上げを決定 ▼南さいはく地域振興協議会 ◎地域住民のための福祉学習プログラムの実施 ◎地区内小・中学生のための福祉学習プログラムの実施 ◎広報誌に上記活動を掲載・広報 ◎重点取組2について各協議会の活動の情報交換を行い・自協議会活動への評価・改善につなげる ⇒以上4点→未達成 以下の研修に主に福祉コーディネーターが参加した ▽町・社協主催の研修の参加 ・あいサポート運動研修 ・ひきこもりサポーター養成講座 ・あいのわ支えあい養成講座 等 ◎PDCAサイクルを元にこれまでの活動の継続・廃止・発展を検討・次期取り組みへ反映 ⇒PDCAサイクルを元にこれまでの活動の継続・廃止・発展を検討・次期取り組みへ反映させた ▼あいみ手間山地域振興協議会 ◎特段の取り組みはない。（社協、人権学習、健康増進委員の学習会の広報と参加要請の協力。見守り懇談会での講演を検討程度。）	【予定される取り組み】 ◎全町版プラットフォーム（連絡会）の設立・活動支援（次年度以降も継続） ◎新たな福祉学習プログラムの実施支援（次年度以降も継続） ◎第4期地域づくり計画の策定支援（次年度以降も必要に応じて継続） 【取組実績】 ◎子どもを対象とする福祉学習の推進として会見小学校、西伯小学校人権教育参観日 出前授業実施 ◎会見小学校 クラブ活動支援（ユニバーサルクラブ）年間 回実施 ◎南部中学校 2年生 出前授業実施（予定） ◎夏休みボランティア体験事業 小学校5.6年生 2日間 6名参加 中学校1～3年生 3日間 42名参加 ◎地域プラットフォームの形成に向け、小学校・中学校の福祉学習等の状況を教育委員会へ確認と今後の相談を行った ◎町内全ての小学校・中学校を訪問し校長と福祉学習のカリキュラムを確認し、地域プラットフォーム作りの提案を行った ◎会見小学校 委員会活動支援（環境福祉委員会）年間 1回実施 ◎高校生サークル・青年団、なんぶサイカツ（南部町の若者有志）と意見交換を行い、地域プラットフォーム作りの提案を行った	【予定される取り組み】 ◎全町版プラットフォーム（連絡会）の設立・活動支援（次年度以降も継続） ◎新たな福祉学習プログラムの実施支援（次年度以降も継続） ◎第4期地域づくり計画の策定支援（次年度以降も必要に応じて継続） 【取組実績】 ◎全町版プラットフォームの設立には至らず。 ◎5協議会の福祉推進事務局に参加し福祉学習の推進を支援。未設置の協議会にも、まず「話し合いの場」の設立に向けた支援を行った。 ◎各協議会に地域づくり計画への反映をお願いした。	
2024 (R6) 年度		▼東西町地域振興協議会 ◎中学生の立案による、「ハロウィン」の開催で地域のお家を周り、住民（お年寄り）とのふれあい・地域での活動の楽しさを体験した。 ◎地域の小・中学生が運動会に代わるウォーキング大会には役員として参加し、その後の親睦会にも参加し地域住民とのふれあい・地域での活動の楽しさを体験した。 ◎高校卒業生を対象に社会に出て役立つ「テーブルマナー講習」を体験・実習し、地域の住民とのふれあいで、この地域での楽しさ・思い出づくりを促した。	【取組実績】 ◎子どもを対象とする福祉学習の推進として会見小学校、西伯小学校人権教育参観日にて出前授業実施 ◎会見第二小学校 活動支援 年間2回実施 ◎南部中学校 2年生・3年生 出前授業実施 ◎夏休みボランティア体験事業 小学校5.6年生 2日間 19名参加 中学校1～3年生 3日間 48名参加 ◎南部町社会福祉推進大会にて小中学生2名ずつに夏休みボランティア体験について発表してもらい、福祉への関心を高めた（合計20名参加）	【取組実績】 ◎全町版プラットフォームの設立には至らず。 ◎「話し合いの場」の設立に向けた支援を行ったことで、すべての地域振興協議会で、福祉推進事務局が設置され、事務局の会議に参加し福祉学習の推進を支援。 ◎各協議会に地域づくり計画への反映をお願いした。 ◎人権・社会福祉教育課から公民館長が毎月の定例MTに加わり連携強化を図った。 ◎八頭町との相互連携を本格的に行う。視察研修と合同発表会をワンパッケージとし、お互いに学	

		▼天津地域振興協議会 ◎人権学習の会実施 年4回の研修 ◎西伯小学校3年生を対象としたグラウンド・ゴルフ交流会 毎年10月実施 グラウンド・ゴルフを通して福祉学習とグラウンド・ゴルフで交流を図る。 ◎小学生以下の育成会と地域づくり部員による法勝寺川土手環境美化活動 7月ゴミ拾いをしながら付近で作業する人への声掛け等のボランティア活動 ▼大田地域振興協議会 ◎三世代交流事業・まめなかや畑（さつま芋の栽培収穫）・夏の自由工作・クリスマス会を通じ、子どもと大人の交流を図る。 ◎eスポーツにて中学生、高校生と交流。 ◎運動会の運営を中学生に依頼しスタッフ化した。(19名参加) ◎大田まつりの作品展示会場に保育園、小学生、中学生の作品を展示。 ◎これら子ども参画事業は担い手づくりにつながると考えている。 ▼法勝寺地区地域振興協議会 ◎地域住民に向けて、広報誌で健康・人権・福祉について掲載告知 ▼南さいはく地域振興協議会 ◎地域住民のための福祉学習プログラムの実施 ⇒ふれあい部・公民館部 合同人権DVD観賞 1回 ◎地区内小・中学生のための福祉学習プログラムの実施 ⇒ふれあい部主催の後期高齢者対象の見守りおせち配布に子供の参加者を募りボランティア活動参加の浸透を促した 子ども7名参加 ◎広報誌に上記活動を掲載・広報 ⇒事務局だよりに人権DVD観賞会の記事を掲載 1回 ⇒見守り活動に地域の子どもが参加した記事を事務局だよりと情報紙に掲載 2回 ◎重点取組2について各協議会の活動の情報交換を行い・自協議会活動への評価・改善につなげる ⇒未達成 ⇒以下の研修に主に福祉コーディネーターが参加した ▽町・社協主催の研修の参加 ・認知症サポーター養成講座 ・あいのわ支えあい養成講座 等 ⇒ミカエル・セミナー参加 ◎福祉学習プログラムについて協議会内で何ができるかの話し合いと、専門職である社会福祉協議会への協力要請が必要 ◎今年度研修会に協議会職員の参加が少なかった次年度は時間が許す限り研修会などに参加する努力が必要 ◎PDCAサイクルを元にこれまでの活動の継続・廃止・発展を検討・次期取り組みへ反映 ⇒PDCAサイクルを元にこれまでの活動の継続・廃止・発展を検討・次期取り組みへ反映させた ▼あいみ手間山地域振興協議会 ◎南部中学校CS委員会に参加し連携に努めている。人権学習委員会と連携しながら定期的な学習会に参加している。 ◎小中学校の夏休みボランティア体験学習（社協）の参加状況の把握に努めている。協議会事業へのボランティア参加を呼び掛けている。 ▼あいみ富有の里地域振興協議会 ・人権推進委員と協議会とによる人権学習開催 4回/年 また、ミカエル・セミナー等の人権学習への積極的に参加した。	◎あいみ児童クラブ（学童）活動支援 1回実施 ◎地域プラットフォームの形成に向け、小学校・中学校の福祉学習等の状況を把握し、教育委員会と今後の相談を行った ◎西伯小学校 委員会活動支援（環境福祉委員会）年間 1回実施 ◎東西町、天津地区などへ福祉推進事務局やワークショップなどの話し合いへ小中学生の参画を提案	び合う機会を設定	
--	--	---	--	-----------------	--

		・子どもを対象とする福祉学習の具体的取組は無いが、南部中学校の CS 委員として参加することで、南部中学校との連携に努めた。また、R6. 9. 29 会見地区運動会の進行係に参加することで多世代交流の場となった。 ・地区住民の有志ボランティアで下校時の青色防犯パトロールを実施。また金田・朝金・市山地区内の通学路の除雪を実施した。 ・R6. 11. 13 世代交流のひまわり保育園児と芋ほりを実施した。			
2025 (R7) 年度	◎地区の福祉活動や福祉施設等でのボランティア活動に参加したことのある小・中学生の割合が5割を超える ◎すべての地区で多様な世代の住民が参加したボランティア組織が形成され、福祉活動を持続させるのに必要な担い手が確保される	▼南さいはく地域振興協議会 ◎これまでの活動を維持・継続 ◎P D C Aサイクルを元にこれまでの活動の継続・廃止・発展を検討・次期計画へ反映 ▼あいみ富有の里地域振興協議会 ◎福祉コーディネーターを中心としたこれまでの活動を維持・継続及び活動の振り返りを行い次期取り組みへ反映させる	【予定される取り組み】 ◎新たな福祉学習プログラムの効果の検証と次期推進計画の策定に向けた課題の集約 ◎事業・取り組みの効果と課題の検証を行い、次期計画へ反映させる	【予定される取り組み】 ◎新たな福祉学習プログラムの効果の検証と次期推進計画の策定に向けた課題の集約 ◎事業・取り組みの効果と課題の検証を行い、次期計画へ反映させる	